

富士見市環境基本計画市民策定委員会（第8回）議事録

【開催日時】 平成24年8月8日(水) 午前9時30分～11時15分

【開催場所】 市役所本庁舎2階 市長公室

【出席者】 策定委員会委員

長谷川委員長、澤田副委員長、宮委員、川添委員、関根委員、
矢野委員、加藤委員、羽石委員、齋木委員、井上委員、眞木委員、
柳田委員、横山委員、古賀委員

事務局

新井環境課長、大橋副課長、佐々木主査

(株)環境総合研究所

寺山

- 【次第】
1. 開会 (事務局)
 2. 委員長あいさつ (長谷川委員長)
 3. 素案について
 4. その他
 5. 閉会 (事務局)

【議事要旨】

1. 素案について

【説明】

本委員会、富士見市環境にやさしい都市づくり検討委員会、並びに庁内意見を踏まえ、大きく修正した部分について以下のとおり説明。(事務局)

- P.30 施策の基本方針「(5)健全な生活を送ろう」にあった「①活気ある商店の推進」は、計画の主旨から広がりすぎているとの意見を踏まえ削除した。
- P.33 行政の実践行動について、担当課を掲載した。
- P.74 削減ポテンシャル表のポテンシャル効果について、電力量を換算した二酸化炭素量を追記し、比較し易くした。
- P.75 削減目標の設定について、その考え方を掲載した。
- P.76 目標値は、実践可能な範囲で設定した。
- P.91 適応策について、箇条書きとし、分かりやすい表現とした。
- P.94 進行管理の図を追記し、見やすい表現に修正した。
- P.2 策定までの経緯を追記した。

【審議内容】

- 委員： P.1 東日本大震災についての表現について、「脅威を」から「脅威と」に、「生活がいかに恵まれたものであるかを再認識させられた」とあるを「身のまわりの環境に無関心であってはならないことを再認識させられた」と表現を修正していただきたい。
- 副委員長： 「恵まれたものであるか」から「恵まれたものであったか」と過去形にすれば理解されやすいのではないか。
- 委員： 原発による電力が恵まれたとしか読めない。福島県の人たちのことを考えると「恵まれた」という表現は適切ではないと思う。
- 委員長： 「恵まれた」とは、今まで便利であったという解釈で使われていると思われる。「恵まれた」とあるを「便利であった」と表現に修正する。
- 委員： 第1章では、「東北地方太平洋沖地震」とあるが、後段では「東日本大震災」と表現されている。カッコ書き等で表現を統一できないか。
- 事務局： 「東北地方太平洋沖地震」で自然の脅威を謳っている。福島第一原子力発電所の事故は「東日本大震災」に含んでおり、区別して表現している。
- 委員長： 表現を統一するために、カッコ書きで表現を修正する。また、「脅威を」から「脅威と」に修正する。
- 副委員長： P.74 二酸化炭素換算係数の表現を追記できないか。
- 事務局： 係数は平成21年度のものを使用している。加筆修正する。
- 委員： P.10 農業の状況について、農家数にパーセンテージを追記した方が見やすいと思う。P.12 歴史・文化の状況について、公園等の来場者数を掲載できないか。

- 事務局: P.10 の農家数のパーセンテージについては、確認する。P.12 のキラリふじみについては、掲載が可能だと考えられるが、公園については、主管課と調整する。
- 委員: 来場者数は不要と考える。数字の掲載による本計画の主旨とのつながりは薄いと思う。
- 委員: 来場者の傾向がつかめれば課題につながるのではないかと考える。
- 委員: 「(7)歴史・文化」については、いきなり表になっているので、前段に来場者の傾向等の説明を掲載すればいいのではないかと。
- 委員: キラリふじみについては、「様々な活動に・・・」とあるので、前段に説明を掲載するのであれば、削除するべきではないかと。
- 委員長: 前段に説明を掲載し、キラリふじみの説明文を一部削除する。
- 委員: P.10 商業の状況について、店舗数は減少しているが、従業員数は増加しており、表現が誤解を招くので、修正した方がいいのではないかと。
- 事務局: 修正する。
- 委員: P.50 交通施策について、二酸化炭素削減のために自転車利用を促進するならば、自転車専用道路の整備などを掲載できないか。
- 事務局: 自転車専用道路との表現はないが、P.50 の行政の実践行動の中に「交通弱者に配慮したインフラ整備」と表現した。
- 委員: 交通弱者とは、高齢者やベビーカーを引いた子育て世代と解釈できるため、自転車専用道路の施策については、新たに行政の実践行動に掲載できないか。
- 副委員長: 自転車専用道路の施策を新たに掲載することによって、P.49 にある「安全・安心なまちづくりの推進」の中にある「自転車の利便性と・・・」と整合がとれている。
- 事務局: 修正する。
- 委員: P.49 市民及び事業者の実践行動にある「放射能に関して正しく理解する」との表現があるが分かりづらい。後段にあった「関心と理解を深める」との表現に統一できないか。
- 委員長: 「関心と理解を深める」との表現に修正する。
- 委員: P.33 行政の実践行動にある「地域に根ざした樹木・樹林は・・・支援を行います。」とあるを「・・・積極的な支援を行います。」に修正できないか。
- 事務局: 確認する。
- 委員: P.18 空間放射線量率について、測定は行っているが、記録を残しているのか。「測定結果は記録として残し、市民に広く公表する。」といった表現に修正できないか。
- 委員: 測定箇所数の追記はできないか。また、回答いただいていない、国と富士見市独自の基準値との違いについて確認したい。
- 事務局: 国(環境省)のガイドラインの $0.23 \mu\text{Sv/h}$ は、地域全体で定めているのに対し、市ではピンポイントの地点について定めている。また、国では測定

高さを1m若しくは50cmと定めているのに対し、市では5cmとしている。放射線量は、測定高さによって大きく異なり、国に比べ、より厳しい基準となっている。また、市の基準を超えた公共施設については、低減作業を行い、基準を達成していることを確認している。

- 副委員長： 国と市の基準について注釈を設けてはどうか。
- 事務局： 注釈を設けると、長文になることが推測でき、難しいと考えている。
- 委員： 「国より厳しい」を削除しても表現としては理解できる。
- 副委員長： 「市の独自の基準」と表現してはどうか。注釈も簡易な表現でいいのではないか。
- 委員： 注釈には国と比較できる部分の表現を掲載する程度でいいのではないか。
- 事務局： 注釈も含め、検討する。測定箇所数については、本計画の主旨に適さないと考えられるため、掲載は難しいと考えている。「記録を残し、公表する」といった表現に修正する。
- 委員： P.47 交通弱者とある表現は日常的なものか。
- 事務局： 交通弱者とは、子供や高齢者、障がい者などと解釈できると考えている。
- 委員： 全体的に、委員の意見が反映されている。また、P.79以降の例示も分かりやすい。
- 副委員長： エコドライブについて、出典を掲載したほうがいい。
- 事務局： 加筆する。
- 委員： P.79 1人1日あたりの削減量等が掲載されているが、何をすれば削減できるのかが分からない。
- 副委員長： P.77以降に削減の取り組みとして掲載されている。
- 委員： P.78 運輸部門について、削減の手段として「電気自動車」を追記できないか。
- 委員： P.57 エコライフの推進にある「買い物時のエコバッグ・・・」とあるが、「マイバッグ」と修正した方がいいのではないか。また、「生ごみの水切り」とあるが、浄化槽への負荷と燃焼への負荷がどの程度違うのか。
- 副委員長： 「生ごみの水切り」について、汚水と燃焼で環境負荷の違いは、圧倒的に燃焼による環境負荷が大きい。具体的なデータはホームページに掲載されている。
- 事務局： 環境への負荷は、下水や浄化槽による負荷はほとんどない。ごみの焼却によるものが大きいので、「生ごみの水切り」を推進している。「エコバッグ」は「マイバッグ」に修正する。
- 委員： エネルギーの地産地消について掲載できないか。
- 事務局： エネルギーについては、様々な計画で掲載されていると解釈しているが、再生可能エネルギーについては発展途上にあり、課題等が整理されていない。本計画には、再生可能エネルギーの推進について主旨を掲載している。

- 委員： P.33 行政の実践行動にある「緑の基本計画」に基づいて・・・とあった表現が、「地域の特性に応じた・・・」に修正されている。修正された根拠を確認したい。
- 事務局： 「緑の基本計画」は計画策定から期間が経過しており、見直す必要が生じているため修正要請の庁内意見があった。
- 委員： 地域によっては緑の確保より子供の遊具が欲しいといった地域住民の要望を考慮しての修正と考えられる。
- 委員： P.10 商業の年間商品販売額は順位を掲載しているのに対し、P.11 市民1人あたりの公園面積は順位を掲載されていない。課題を抽出する観点から順位を掲載した方が分かりやすいのではないか。
- 委員長： P.11 公園の状況については、本委員会での修正事項であるが、本委員会意見として順位を掲載する。
- 副委員長： 素案が本案となる際、大幅な変更が生じるのか。
- 事務局： 今後は庁内会議、政策会議を経てパブリックコメントを実施する。各会議で大きな修正点が生じた場合には、本委員会の正・副委員長と相談のうえ、委員会を開催するか否かを決めたい。
- 委員： P.93 計画の進行管理について、削除された箇所の根拠を確認したい。
- 事務局： P.92 も含めて表現について修正しており、主旨は変わっていない。
- 委員： P.13 ケヤキは、夏場には木陰になり自動車搭乗者の休憩場所になっている。エンジンをかけっぱなしにしており、地域住民にとっては迷惑になっている。また、落ち葉が相当量発生するが、自治会が費用負担して清掃を行っている。自然も大切だが、地域によってはこうした事情もあることを知っておいて欲しい。
- 委員： P.15「満足している」とあるが、修正一覧には「達成している」に修正するとある。
- 委員長： 「達成している」に修正する。

2. その他

【今後のスケジュールについて】

本委員会での意見を踏まえ、再度素案を修正し、環境にやさしい都市づくり検討委員会、政策会議にかけ、環境審議会に諮る。その際、大きな修正が生じた場合には、委員長、副委員長に相談し、本委員会開催の可否を決定する。

年明け1月～2月の約1ヶ月間でパブリックコメントを実施する予定である。

以上